

● 旅の「こだわり」

安心・充実の旅

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません！
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内-安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

● ご旅行条件 (要約)

●募集型企画旅行契約
この旅行は株式会社ユーラスタツアーズ(以下「当社」)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」)を締結し、(株)ユーラスタツアーズが問合せ・申込みを受け付けます。条件は下記他、別途旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表=確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2017年11月21日を基準としております。また、この旅行代金は2017年11月21日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2017年11月21日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しております。

●旅行契約の解除
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前(ピーク時は33日前)迄にお知らせします。

●取消料
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、下記の金額を取消料として申し受けます(お一人様)。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降~31日目【ピーク時】4/27~5/6,7/20~8/31,12/20~1/7に開始する旅行	旅行代金の10%

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証(ビザ)取得実費代金、渡航手続き手数料は、そのまま申し受けます。

- 旅行代金に含まれるもの(一部例示)
 - ・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
 - ・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
 - ・食事代：旅程に表記のもの
 - ・空港、駅~ホテル間の送迎車料金
 - ・添乗員同行の経費(同行と明示した場合)
 - ・鉄道運賃(旅程に明示したもの)
 - ・旅程に明示した市内(郊外)見学のガイド料、入場料、チップ

- 旅行代金に含まれないもの(一部例示)
 - ・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ・渡航手数料：旅券印紙代(新規に申請される場合)
 - ・渡航手数料：出入国記録等書類作成費用、査証(ビザ)取得実費・手数料
 - ・超過手荷物料金：規定の重量・大きさ・個数を超える分

- ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
- ・一人部屋追加料金(相部屋の方がいない場合も同様)
- ・空港施設使用料、航空保険料および保安料
- ・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
- ・日本国内の交通費、前泊の費用、ポーター
- ・任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金

●その他(1)旅行代金はお一人分を表示しています。
(2)当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。

●当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイレージを受けられる場合がありますが、同サービスに関わるお問合せ、登録等はお客様自身で当該航空会社で手続きいただけます。

●時間帯の目安
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	17時	19時	23時

● 問合せ・申込先

東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会正会員 株式会社ユーラスタツアーズ
総合旅行業取扱管理者：榎原晋治

“いい旅”育てて55年

ユーラスタツアーズ

☎ 03-6453-6633

FAX 03-6453-6630 団体旅行課(徳植・榎原・滝澤)

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

●Eメール: tokyo@euras.co.jp

●URL: <http://www.euras.co.jp>

●営業日: 平日(月~金曜日) 9:30~17:30 / 土・日曜日、祝日は休みです

※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

旅行企画実施 株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

参加予約票 シベリア出兵100年 日本軍侵略の実態を学ぶ 極東ロシアの旅

(ユーラスタツアーズ宛)

①	氏名	フリガナ:	電話
			FAX
	住所		携帯
			メール
②	氏名	フリガナ:	電話
			FAX
	住所		携帯
			メール

※当「参加予約票」をお送りいただいた後、当社より申込みに必要な諸案内を記載いただいたご住所へお送りいたしますので、渡航手続きを書面に沿ってお進めください。

ロシア十月革命への内政干渉と占領の歴史を探る

混乱期のソビエト・ロシアへ進軍し虐殺や軍事行為を繰り返した

シベリア出兵100年

侵略の実態を学ぶ極東ロシアの旅

シベリア出兵は歴史的にみるとあまり詳しく知っている人は少ないのではないのでしょうか。しかし、この侵略の中で日本軍はシベリア各地で民間人に対して侵略や虐殺を行いました。実際に攻撃や虐殺を受けた場所を訪れるまたとない機会です。また、シベリア鉄道に乗って実際侵略が行われた順に巡ります。このシベリア出兵から100年という節目の時、日本から近くて遠く、極寒のシベリアでどんな悲惨な事が起こっていったのか、学んでみませんか。



- 1918年日本軍が侵略を開始した場所から占領下の日本人街を巡る
- 日本軍による民間人虐殺のあったイワノフカ村を訪問
- シベリア鉄道とロシア極東の街々の文化にふれる

2/23(金)~2/28(水) 6日間

229,000円(※燃油代・諸税別)

1/19(申込締切日)



EURASTOURS
ユーラスタツアーズ

旅行代金・諸条件	
旅行期間	2018年2月23日(金)～2月28日(水)6日間
旅行代金	229,000円 (※2名1室利用)
実施人数	15名様(最低実施人数7名様)
申込締切	2018年1月19日(水) ※定員になり次第、締切ります
別途費用	燃油サーチャージ(950円) 諸税(2,610円)
	5,400円(ロシア・ビザ取得代行手数料)
一人部屋追加	21,500円※相部屋の方がいない場合も要追加費用

○添乗員は同行しません。
○利用航空会社：オーロラ航空、大韓航空、シベリア航空、エアフロート航空
○利用予定ホテル：ウラジオストク(プリモリエ)、ブラゴベシエンスク(ドゥルージバ)

日次	スケジュール [食事(朝・昼・夕)] / 宿泊地
1	2/23 ⑤ →空路、ロシア極東の港町ウラジオストクへ(11:00～14:00成田発) 着後：入国審査～通関着後、専用車で宿泊ホテルへ ☒ ☒ 🚗 ウラジオストク泊
2	2/24 ⑥ 午前：シベリア出兵～日本軍侵略の歴史を学ぶ=1918年シベリア出兵時、日本海からウスリースク湾へ攻撃を行った◎日本軍が侵攻した高台へ 午後：日本人街巡りシベリア出兵後の占領のつめ跡を探る=今も解体されずに残っている◎旧日本総領事館、シベリア金塊事件舞台となった◎旧松田銀行、◎旧堀江商店、松井須磨子も出演した◎プーシキン劇場、◎蒲潮本願寺記念碑を巡ります。🚗 夜：シベリア出兵時日本軍が占領を試みたシベリア鉄道のオケアン号に乗ってハバロフスクへ 🚗 🚗 🚗 列車泊
3	2/25 ⑦ 朝：ハバロフスク着 着後、ホテルにて小休憩 終日：ハバロフスク市内見学=ハバロフスク市民の憩いの場所である河畔の公園にある◎アムール川展望台、ロシア国内でモスクワの赤の広場に次いで2番目に広い広場である◎レーニン広場、当地の歴史、自然、風俗に関する資料が豊富な●民族博物館、◎純白の建物に黄金に輝く丸い屋根のスパソブレオブラジェンスキー聖堂 🚗 夜：再びシベリア鉄道で、中国との国境の町ブラゴベシエンスクへ 🚗 🚗 🚗 列車泊
4	2/26 ⑧ 朝：ブラゴベシエンスクに到着 着後、ホテルにて小休憩 🚗 午前：1919年日本軍による大量虐殺のあったイワノフカ村へ(ブラゴベシエンスク市街地から約30km)=日ロ共同の追悼碑である◎懺悔の碑 午後：アムール川の中国との国境の町ブラゴベシエンスク見学=町のシンボルである◎凱旋門、中口の国境を守る◎国境警備隊と犬の像、6500年前の化石が発掘されている●恐竜博物館 🚗 🚗 🚗 トラゴベシエンスク泊
5	2/27 ⑨ 昼頃：→空路、ウラジオストクへ 着後：ウラジオストク市内見学=ウラジオストクの町を一望できる◎鷹の巣展望台、潜水艦の中が博物館になっている●S-56潜水艦博物館 🚗 ☒ 🚗 ウラジオストク泊
6	2/28 ⑩ →空路、帰国の途へ(07:00～09:00ウラジオストク発) 到着(09:00～11:00成田着)後、入国審査・解散 🚗 ☒ ☒

註：🚗 印=食事付き、☒ 印=自由食、🚗 印=機内食、OP=オプションツアー
●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓見学、→=航空機、🚗 =専用車
🚗 =鉄道(2等車※4人1部屋2段式寝台・指定席)

シベリア鉄道は、基本4名1室の2等寝台となります。
シベリア鉄道での部屋は、夫婦であっても男女別となり、4名に満たない場合は、グループ外の人と同室になることもございます。

シベリア出兵とは

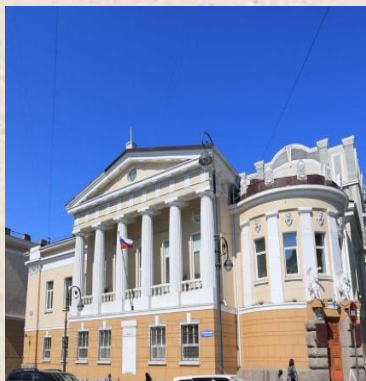
対ソ連への武力干渉の一つ。極東においてロシア革命に武力干渉する目的で、仏、英、日本、米がシベリアに共同出兵した。1917年ロシアで十月革命が勃発すると、仏・英によって日米両国に共同干渉が要請された。革命後、日本政府では東シベリアに親日的緩衝国家を樹立して脅威にそなえようという積極的シベリア出兵論が台頭していた。7月になって、アメリカがチェコスロバキア軍救援のために日米共同で限定出兵することを提議すると、8月2日、日本はこれに応じてシベリア出兵を宣言した。12日、日本軍はウラジオストク上陸を開始し、その後も増兵して、全面出兵となり、9月上旬にハバロフスクを占領、10月には東シベリア一帯を占領し、11月には7万超の大軍にふくれ上がった。しかし、反革命政権樹立工作は酷寒とパルチザンの抵抗によって不成功に終わった。19年秋にはコルチャクのオムスク政権が崩壊し、イギリス、フランスはシベリア撤兵を決定、アメリカも、チェコスロバキア軍の引揚げ完了で出兵目的を達成したとして、20年1月、シベリア派遣軍の撤退を通告した。しかし日本は、列国が撤兵したのちも出兵目的を居留民保護と朝鮮、満州への過激派の脅威防止に変更して、駐兵を継続した。22年10月、日本は撤兵を完了したが、3500名の死傷者を出し、10億円に上る戦費を費やした。

このツアーならではの見学・訪問



● 砲撃を受けたウラジオストクの高台

シベリア出兵の発端であり第1歩となった軍事攻撃を受けたウラジオストク東部にある受けた高台。日本軍の戦艦計5隻がウスリースク湾へ侵入。ウラジオストク街の方向の高台に向かって砲撃を実施した。その砲弾は1時間に130-200発に及んだ。付近の村の一家4人が死亡したほか、ロシア軍5人にけがを負わせた。



● ウラジオストク旧日本人居留地「蒲塩」

日本軍の介入の前で、ウラジオストクには非常に規模の大きな日本人街が形成された。ロシア革命の時期でロシア政府の統治が不十分な中、1920年頃(大正9-10年頃)には6,000人近くの日本人が暮らしていた。その面影は今も残っている。商店は勿論、銀行や学校、劇場、寺院まであった。写真は当時の日本総領事館。



● 軍事的利権に翻弄されたシベリア鉄道

シベリア鉄道(当時はアムール鉄道)は常に政治的、軍事的に重要な路線であり続けた。ロシア革命後に本国移送中のチェコ軍団が沿線を占領し、その救出を理由にして日本などのシベリア出兵が起こった。日本政府はシベリア鉄道の利権も目論んでいた。その後もシベリア鉄道は軍事輸送に大いに利用された。



● 大量虐殺を受けた悲劇の村イワノフカ

シベリア出兵中の日本軍が、抗日パルチザンに対する掃討作戦の過程において多数の民間人を殺害した事件が起こったアムール州ブラゴベシエンスク郊外の村。日本軍は制圧の過程で女性や子供ら、1歳半の乳飲み子から96歳の老人まで含む、257人を銃などで殺害、36人を小屋に閉じ込め焼き殺したという。



訪問都市のご案内

◎ウラジオストク

日本海アムール湾と全角湾に囲まれた軍港、商業港、漁港の町。ナホトカの北西207kmに位置し、坂の多い落ち着いた雰囲気をもつ。別称「東洋のサンフランシスコ」。極東地区最大級の都市。



◎ハバロフスク

アムール川やウスリースク川など大きな川が流れ、シベリア鉄道の重要な拠点にもなっています。極東ロシア地域の行政の中心地として栄えています。坂が多いものの基盤の目ような街。



◎ブラゴベシエンスク

シベリア南部のアムール州の州都。中国との国境線を形成するアムール川の左岸にあり、ゼヤ川との合流点に位置する。対岸の中国の町、黒河とは国境交易が盛んに行なわれている。



シベリア出兵の年表

1980	ウラジオストク開市 北京条約によりロシアに編入
1877/10	十八銀行(長崎)設立
1868	明治維新、日本開国
1871	ウラジオストク、シベリア艦隊の基地となる
1876	日本の貿易事務館開設
1881	長崎-ウラジオストクに定期航路開設
1890	京都の西本願寺がウラジオストクに進出
1891	シベリア鉄道沿岸州地区が建設開始
1903	シベリア鉄道 モスクワ～ウラジオストク開通
1904	日露戦争勃発 在留日本人大半帰国
1906/7	十八銀行ウラジオストク支店開設
1907	日本領事館開設
1910/8/22	日韓併合条約調印 朝鮮半島が日本の植民地になる
1911/3/29	朝鮮銀行設立
1914/8	第一次世界大戦開戦、欧州で戦闘始まる このころより日本商社ロシアに軍需品を大量輸出
1915/9/17	日本政府閣議でロシア帝国へ兵器輸出を決定
1916/2	第1回ロシア国債500万円発行 横浜正金銀行引受
1916/3/2	朝鮮銀行が十八銀行ウラジオストク支店を買収
1916/7	朝鮮銀行ハルビン支店開設
1917/11	ロシア十月革命 ソビエト政権成立
1918	日英両国がウラジオストクへ軍隊派遣 理由は居留民保護
1918/8/2	日本政府がシベリア出兵告示
1918/8/9	第12師団がウラジオストク上陸
1918/11	ドイツ帝国で革命が起こり、シベリア出兵の目的を失う オムスクにコルチャク反革命政府成立
1919/1	労働者や農民などで組織されたパルチザンがマザノヴォ村にて蜂起 以後、連合軍へ遊撃戦
1920/2/13	インノケンチヤフスカヤ村にて日本軍が村民を虐殺
1919/2/28	歩兵隊第72戦隊 田中大隊がアムール鉄道ユフタ駅付近で全滅
1919/3/22	イワノフカ事件
1920/2/7	コルチャクの提督がイルクーツクで銃殺
1915/9-10	パルチザンと白軍・日本軍との間でボグダットの戦い
1919/11	コルチャク政府軍がオムスクを撤退しイルクーツクに移動
1920	連合軍が相次いで撤退。日本軍は単独で駐留
1920/3-5	尼港事件 アムール川河口のニコライエフスクにてパルチザンと日本軍との間で戦闘一般市民を虐殺
1920/4/6	朝鮮銀行ハルビン支店が金塊買取開始
1922/10/25	日本軍がシベリアから撤退
1925/2/26	日ソ基本条約発効